

地震から「命」を守れ！ 地震に対する自身の備え

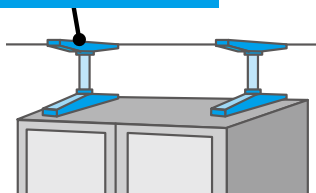
1945年1月13日午前3時35分に発生した三河地震（マグニチュード6.8）によってもたらされた深溝断層。この地震は第二次世界大戦末期に発生したため、被害報告や資料が乏しく、地震発生直後の様子を知る貴重な写真。写真中央部分、水をはった田んぼに1.5mの段差が生じている。

いつ起きてもおかしくない東海地震、東南海地震、南海地震（南海トラフの巨大地震）。これらの地震は単独ではなく、同時に起きる可能性が高いといわれています。この地震が発生すると、西日本を襲う最大の地震になることから、国は8月29日にこの地震が発生した場合の被害想定を公表しました。愛知県では死者数が23,000人を超える想定となっています。幸田町における被害想定については、震度予測が震度6強とされ、津波による被害は見込まれていないものとなっています。

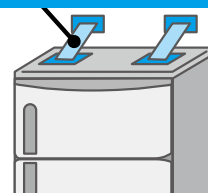
地震は「いつ、どこで、どんな規模で」起きるかわかりません。地震に対する備えは日ごろから行くことが大切です。今回は、地震に対する「事前の備え」と「地震発生後の行動」について一例を紹介します。「わが家の地震対策は大丈夫！」と自信を持って言えるよう対策を進めましょう。

ポール式器具（突っ張り棒）

家具と天井の間に、突っ張り棒を入れて固定しましょう。
※天井の強度を確認して使用しましょう。



粘着ベルト



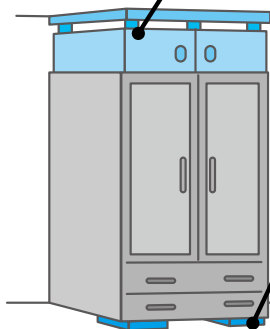
粘着マット



テレビや冷蔵庫は粘着マットや粘着ベルトなどで固定しましょう。

家具転倒防止収納ユニット

家具と天井の間を埋めて固定し、普段は収納として活用できます。



ストッパー式転倒防止器具

家具を壁から3~5cm離し、上部を壁につけるようにして、家具をかたむけ、下部の隙間をストッパーを入れて固定しましょう。



ガラス飛散防止フィルム

食器棚のガラス扉が割れるのを防ぐため、飛散防止フィルムをはりましょう。

日ごろの取り組み

●家の中の安全を守る

- ① 家の中に安全なスペースが確保できよう、使用頻度の少ない部屋に、家具や荷物をまとめておくなど、家具の配置換えをしましょう。
- ② 寝室や子ども、お年寄りのいる部屋には、なるべく家具を置かないようにしましょう。
- ③ 家具やテレビ、冷蔵庫が倒れないように、転倒防止金具や突っ張り棒などで固定をしましょう。
- ④ 安全に避難できるように、玄関などの出入りに家具や倒れやすいものを置かないようにしましょう。
- ⑤ ベッドや布団の近くに、靴やスリッパ、懐中電灯を置いておきましょう。
- ⑥ 非常持ち出し袋と非常備蓄品を最低でも3日間、できれば7日間分用意しましょう。

●家族で話し合いをしておく

- ① 避難時、非常持ち出し袋係、赤ちゃん係など、家族の役割分担を明確にしておきましょう。
- ② 家族が離ればなれになった時の連絡方法を決めておきましょう。(居住地から離れた親戚を連絡先にするなど)

●家の周囲の安全対策

- ① 自分の家が地震に耐えられるかを知るために、昭和56年5月31日以前に着工された旧基準の木造住宅は「耐震診断」を受けましょう。診断結果により倒壊の恐れがある場合や不安な場合は、専門家に相談しましょう。耐震診断、相談は都市計画課建築G(内線231)で受け付け中です。
- ② ブロック塀、門柱の安全確認をしましょう。土中に基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは補強しましょう。
- ③ 窓ガラスには、飛散防止フィルムをはりましょう。
- ④ プロパンガスのボンベは、鎖で固定しておきましょう。

子どもたちの防災

●避難時、こんな言葉を覚えておきましょう！

避難のきまり

せんせい しじ したが ひなん
あわてず先生の指示に従って避難する

いっしょうけんめい ついていく もどらない おちついて かんがえる にげる

※「お・は・し・も」とは、学校の避難時の心構えをまとめた標語です。「い・つ・も・お・か・に」は、リードしてくれる人がいるときの標語です。(名古屋大学減災連携研究センター近藤のぞみ氏より提供)

防災カード

●家族の連絡先

名前	家族の連絡先

●我が家の行動表

名前	日常いる可能性の高い場所

●非常時の連絡先 (被災地外)

名前	連絡先

家族の集合場所

非常持ち出し品をチェック

一次持ち出し品（地震発生後すぐに持ち出す物）

① 身近なところ

- 懐中電灯
- 携帯電話（充電器）
- 現金（小銭も）
- 預金通帳・印鑑
- 免許証・保険証（写し）

② 非常用持ち出し袋

- 衣類、下着
- タオル
- ハンカチ
- ラジオ
- 乾電池
- ライター
- 持病の薬
- 生理用品
- ビニール袋
- 食品用ラップ
- ウエットティッシュ
- ヘルメット
- 非常食（そのまま食べられるもの）
- 飲料水

非常用持ち出し袋は、必要なものをリュックサック1個分くらいにまとめておくと良いでしょう。

二次持ち出し品（地震が落ち着いたら家に戻って持ち出す物）

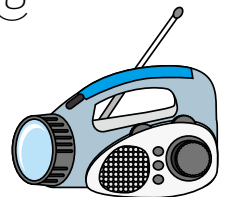
③ 備蓄品7日分

- 食料（アルファ米、インスタント食品）
- 飲料水（1人1日3リットル）
- ジャッキなどの工具
- ロープ
- 洗面用具・歯ブラシ
- マスク
- 毛布・寝袋
- カセットコンロ
- 床に敷くシート
- ビニール袋
- 使い捨てカイロ
- 割りばし

備蓄品は、目について出しやすい場所に保管しましょう。普段から使っているものを準備すると良いでしょう。

★赤ちゃんがいる家庭では

- 粉ミルク
- 哺乳瓶・紙コップ
- 離乳食
- 紙おむつ
- 水（軟水。国産のミネラルウォーター）
- ガーゼなど



災害用伝言ダイヤル利用方法

ガイダンスに従って必要事項を入力しましょう。

171 を入力します。

ガイダンスが流れます

録音する 再生する 暗証番号を利用して録音する 暗証番号を利用して再生する

1 **2** **3** **4**

連絡を取りたい被災地の方の**固定電話番号**を**市外局番**から入力します

0564-XXXX-XXXXXX

伝言を録音・録音した伝言を再生する

- 伝言の録音時間は 30 秒以内
- 伝言の蓄積は最大 10 件まで
- 伝言の保存期間は 48 時間（時間経過で自動的に消去されます）
- 加入電話、公衆電話、携帯電話、PHS から利用できます
- 体験利用ができます
毎月1日・15日・正月三が日、防災とボランティア週間（1月15日～21日）、防災週間（8月30日～9月5日）

※携帯電話では、メールによる災害用伝言板が利用できます。詳しいことは各電話会社に確認してください。

地震発生時の行動

●家の中にいる時に地震発生

- ①机やテーブルの下に身を隠し、落下物や転倒物から身を守りましょう。トイレやお風呂は比較的に安全です。慌てて外に出ないようにはしましょう。
- ②災害時、水は貴重です。水道管の漏水などで水が確保できなくなることもあるので、お風呂に水が張ってあった場合は、栓を抜かないようにしましょう。
- ③地震で家屋がゆがみ、出入り口の閉鎖ができなくなる場合があります。支え棒などを利用し、玄関などの脱出口を確保しましょう。
- ④揺れがおさまったらすぐに火を止めましょう。火が出ている時は、安全確認の上、消火に努めましょう。また、電気器具は電源プラグを抜き、避難する際にはブレーカーを落としましょう。
- ⑤慌てて外へ飛び出すと、瓦などの落下物で負傷する可能性があります。揺れがおさまったら、非常持ち出し袋を持ち、外へ出ましょう。
- ⑥基本的に徒歩で避難場所まで移動しましょう。車での移動は極力避けましょう。
- ⑦避難する際は、隣近所の高齢者や障害者にもひと声をかけて、地域と連携して避難しましょう。

あわてない!



●映画館や講演会の最中に発生

- ①イスの間にしゃがみ込み、バッグなどで頭を保護しましょう。
- ②慌てて出口に向かわず、係員の指示に従いましょう。

●地下街にいる時に発生

- ①地下街は耐震構造になっているので、慌てる必要はありません。壁面や太い柱の近くに身を寄せて、揺れがおさまるのを待ちましょう。出口は60メートル間隔に設けられているので落ち着いて避難しましょう。
- ②火災が発生した場合は、ハンカチやタオルで鼻と口を覆い、壁つたいに煙の流れる方へ逃げましょう。

●車を運転中に地震が発生

- ①ハザードランプを点灯させ、徐々にスピードを落としましょう。車を道路の左側に寄せてエンジンを止めましょう。
- ②揺れがおさまるまで車外に出ず、地震情報をラジオで聞きましょう。
- ③車から離れる時は、カギをつけたままで、ドアロックをしないように注意しましょう。



●海岸付近にいたときは

- ①遠くへ避難するのではなく、「より高い所へ」避難しましょう。
- ②小さな揺れと地震の規模は別です。津波注意報や警報が発令されたら、ただちに高台へ避難しましょう。

宮城県多賀城市へ職員を派遣しています!



防災安全課
やまぐちとしゆき
山口利幸 主査

私は、平成21年度から23年度までの3年間、町の下水道課に勤務していました。

今年の4月1日から多賀城市で下水道などの災害復旧工事現場における施工管理や、復旧事業に関する県との協議、災害査定の対象となるマンホールの段差の調査、災害復旧以外の下水道担当の通常業務などを行っています。

多賀城市の下水道は、津波による浸水や地震の揺れによる管のずれなどにより、1年半が経った今でも、通常使用ができない状況です。まだまだ復旧への道のりは長いものとなりますが、自分にできることを精一杯やりたいと思います。



▲段差などの調査



▲工事現場の進捗確認

問合せ 防災安全課安全対策G (内線371)

災害時相互応援協定の締結を記念して

入場無料!

幸田町防災シンポジウムを開催します!

と き 11月23日(金・祝) 【開場】午前10時 【開演】午前10時30分

ところ 町民会館 さくらホール

【第1部】

午前10時30分~正午

愛知県警察音楽隊

ふれ愛コンサートを開催します!

入場整理券が必要です。

整理券は10月10日(水)から岡崎警察署と幸田町役場で配布します。

そのほか 演奏は2部構成で行います。演奏曲目は当日のお楽しみです。

主催 岡崎警察署・幸田町

【愛知県警察音楽隊】

愛知県警察音楽隊は昭和24年1月「県民と警察を結ぶ音のかけ橋」として発足し、各警察署の開催する交通安全、地域安全などの行事や市町村における公共的な行事で演奏・演技を行い、交通安全・地域安全などについて県民の皆さまに呼び掛けています。また、県下の各学校を巡回して演奏会を行い、次世代を担う青少年の健全育成と、交通事故防止・犯罪被害防止を目指す活動にも力を入れています。現在は、米田隊長以下40人の編成で、演奏回数は年間およそ200回です。



【フレッシュ・アイリス】

昭和49年1月に8人の女性警察官が「女性ストレート・トランペット隊」として配置されました。平成4年10月「フレッシュ・アイリス」と命名されストレート・トランペットをはじめ、フラッグやポンポンなどを使いさまざまな演技を行っています。

【音楽隊長からのメッセージ】

音楽隊の活動目的は、ほかの警察活動と同じく、常に「治安レベルの向上」にあります。私たちの演奏活動が県民の皆さまの事件事故を未然に防止する意識を呼び覚まし「安全で安心して暮らせる社会」を皆さまとともに実現できるよう頑張っています。



第2～4部 11月23日（金・祝）【開場】午後0時45分【開会】午後1時15分

【第2部】 協定締結市町の紹介

午後1時15分～1時45分

紹介する4市町

- ・長野県上伊那郡箕輪町
- ・岩手県西磐井郡平泉町
- ・岩手県気仙郡住田町
- ・東京都立川市



第2～4部は
どなたでも参加
できます！



第2～4部
総司会者
田中 ふみえ 氏

【第3部】 基調講演

午後1時45分～3時15分



【講師】^{くにざき のぶえ} 国崎 信江 氏（危機管理教育研究所代表、危機管理アドバイザー）

【演題】「家族や地域の防災対策」

～自分を・大切な人を守るために～

女性の視点で
考える防災！

【第4部】 パネルディスカッション

午後3時30分～5時

【演題】「大規模災害における対策と支援」

～東日本大震災から～

【コーディネーター】

^{くまもとくにひこ} 隈本 邦彦 氏

（名古屋大学減災連携研究
センター客員教授）



【パネリストの4人を紹介します】



^{のだ としひろ}
野田 利弘 氏
名古屋大学減災連携研究
センター副センター長



^{かぎや はじめ}
鍵屋 一 氏
東京都板橋区役所
福祉部長



^{ただ きんいち}
多田 欣一 氏
岩手県気仙郡
住田町長



^{あまの たけゆき}
天野 竹行 氏
NPO愛知ネット
理事長

巨大地震が起きても
大震災にしないために！

そのほか 都合によりスケジュール、出演者は変更させていただく場合があります。
問合せ 防災安全課安全対策G（内線371）

多くの皆さんの来場をお待ちしています！

